

令和元年度「まちづくり子どもアイデア」

市では、「思いやりのあるまち」「災害に備えるまち」などの8つの分野について、子ども達が考えたまちづくりのアイデアを募集し、多くの市民にまちづくりへの関心を持っていただくこととしています。令和元年度は浅井町からは浅井北小学校の児童42名が応募しました。

浅井北小学校児童が考えたまちづくりを紹介します。

令和元年12月 浅井町地域づくり協議会

1 思いやりのある町

★あいさつ調査（1）

見守り隊の人たちにあいさつができたか、登校のときに「みんな、あいさつできたかな？」と聞きます。できなかった人は「また今後、あいさつしようね。」と励まします。こうすれば、自分からあいさつをしてくれるかなと思います。

★あいさつをしかいに入る人にもしよう（2）

視界にはいる人に挨拶をすることでほかの人たちとしんきんかんをいただきます。あといろいろな人たちに声を掛けることが出来るので防犯になります。

2 災害に備えるまち

★木曽川氾濫時、浸水の高さマップ（3）

木曽川はとても大きい川なので、氾濫・堤防決壊場こわいので、事前にもし木曽川があふれたらどれくらいまで水がつかるのかを調べてマップにしたり、そこで調べたのをもとに避難タワーを作ったりすることです。

★川の量けいじ板づくり（4）

川の量が過去に増えたところを分かり易くする表示を行う。この掲示板は次台風などがきたときに雨が止んだ所を見計らって身に行って作りたい。

★避難場所確認マップ（5）

もし「地震」や「津波」、「台風」が来たとき迷わずに避難できるように、各家庭で近所を見て歩き「〇〇公園」や「△×小学校」のように、一番近く、はやく着ける避難場所を決めます。決めたら各家庭で道や場所をメモして、それを大きな紙や画用紙にかき、「避難場所確認マップ」をつくります。

3 交通事故のないまち

★歩行、自転車用マップづくり（6）

小さな道だけど車がいっぱい通っていて、たまに危なかったりするときがあるから、歩く人は自転車に乗っている人は「ここから行くと良いよ」というのを示して、みんなが分かるようにマップにして、みんなが安全に通れるようになると思います。

★事故、防犯マップづくり（7）

町内で事故や、犯罪がおこれそうなところに地図にしるしをつけ、町内で南、真ん中、北のチームに分かれてマップ作りをします。そのできたマップを町内にある公民館や学校にはって注意を呼びかけます。

★近所の人に危険な場所を話し合う（8）

おじいさん、おばあさんたちに「危ないから気をつけてね！」と言ってあげるだけで、少しでも安全になると思いました。話し合うことで事故が少なくなるし、歩いている人も気をつけて道を通ることが出来る。車にのっている人もとびだしたひとをあまり見かけなくなると思います。

★犯罪と事故のないづくり（9）

あぶない道路などをしらせてしっかり車がきてないがみたり、犯罪の出やすいところなどをしらせてあまりいかないようにする。

★思いやる（10）

押しボタンがない横断歩道は、みんなで気をつけて、事故がないように気を付ける。班長は、しっかりと旗を出す。

★名古屋走りを無くそう！（11）

まず、ドライバーの意志を変えなければ、いけません。愛知県外から車で来た人は、とてもびっくりします。そのせいで、15年連続で交通事故が一番多く起きているのです。私は、みんなで交通安全を第一にして、事故をなくしたいなあと思いました。私も気をつけて道路を渡りたいです。

★危険マップ作り（12）

事故、犯罪などがおこりやすい所を地図にかく。それをかんばんなどに貼る。

★安全マップ（13）

安全マップ作り。たまにあぶないのに、かがみがないところがあるので、つけたほうがいいと思います。たまにクラクションがなることが多いと思います。もしおこるとみんなにひがいがでるので見つけたら、きをつけて下さい。

★交通事故をなくすためには（14）

交通事故をなくすためには、危険な場所の注意をかくにんしながら、標識など、分かりやすいものをおく。特に交通量が多い所は危険性があるので、たくさんおいた方がいい。この標識には、いろいろな標識があり、止まれのや通交禁止のマークなどもある。

4 犯罪のないまち

★増やそう110番の家（15）

人気のないところや、暗いところは危ない人がいるかもしれないので。110番の家が増えたら、かんし能力が上がったり、もし危なそうな人が声を掛けてきたら、近くにすぐ逃げられることで安全になるのです。なおで町の人たちも全協力をして安全な110番の家を増やすのです。

★マップづくり（16）

一宮市の中にマップをつくって、どこが安全かを分かるようにすると、犯罪もそれによって少なくなるということです。この地図は、みんなで協力して作ります。

★災害にならない用にする町（17）

まんびきなど犯罪が多いので、ポスターや防犯カメラなど置いてもまだ平気で万引きをしてる人が多いので、自動ドアの前を買ってなかったらブザーがなるやつもスーパーにおいたりして、防犯をしたいと思います。

5 自然が豊かなまち

★公園遊び場マップ作り（18）

遊べる公園が近くに用水があって生き物を捕まえられる公園がたくさんある。夏にはオタマジャクシ、トンボ、バッタなど、たくさんのおん虫をつかまえられる。冬には雪が積もれば、雪合戦や雪だるまを作ることができる。

★カラフルフラワータウン（19）

今の一宮市は、ビルなどが増えてきて、花や木などの植物が減ってきていると思います。なので、市内にたくさんのおん虫を植えて、花とビルが共存する市にしたいです。iビルの前にあるいちみんなの花のように、絵のようにしてもいいと思います。また花屋さんや、苗屋さんで、募金箱を置いてもらい、アンケートの神と回収ボックスも置いてもらいます。そして、より市民の理解を求め、共感を得られると思います。

6 ごみのないまち

★カラス撃退キャンペーン（20）

月に1度カラスにごみ収集場をあらされないように、散らばって、落ちて
いるゴミを拾ったり、ネットの取付、ネットのてんけんなどをします。ネッ
トがやぶれていたら、けっそくバンドなどでとめ、かぶせても意味がないと
きは2Lぐらいのペットボトルなどで、はしの方を動かさないようにします。ま
た3ヶ月に1回ぐらい、町のせいそう活動をし、見た目もどこにいてもき
れいな町にします。

★ごみをなくすためのマップづくり（21）

ごみをこの町からなくすために、マップにポイ捨てなどについて書き込み
ます。ごみのマップをはる場所は、ポイ捨てなどが多いところや、自然豊か
にしたいという思いが強い人たちの家の前など、人に目に入るようなところ
です。そして、この地図は、ボランティアさんや私達、大人の人たちと一緒に
作ります。マップを見て協力してくれる人が増えるといいです。

★清掃（22）

よくゴミが捨ててある空地に看板を立てる。ゴミを拾うボランティアによく
さんかする。ゴミをいろいろひろう。ゴミを1日ひろう個数を表に書く。道
路の端っこにゴミ箱をつける。防犯カメラを付ける。1っけん1っけん回っ
てゴミ拾いをする。

★ボランティア（23）

公園などの草むしりやゴミ拾いなどをします。これは、いわれてやるので
はなく、みんながそれぞれ気づいてやるべきだと思います。これを続けるう
ちに町もキレイになると思います。

★自分の町をピカピカに（24）

私は良く、道路や公園、みんなが使う場所にゴミが捨ててあるのを見かけ
ます。なので、そういうことがないように町全体でポイ捨て予防のポスター
を使ったり、町に落ちているゴミをすみずみまで、ひろいます。みんなで協
力して、町をピカピカにする。

★ゴミをみんなにしらせよう（25）

よくゴミが落ちているところを紙にまとめて、地域の人や引っ越してくる
人たちに詳しく教える。そのほかにゴミが落ちているところがないか、聞い
たり、イヌのうんちをそこらへんに放置しないと注意を書いたりする。

★町をきれいにするかんばん作り（26）

カラスなどにゴミをあさられてしまうため、ゴミ捨て場に看板をつくりま
す。カラスにゴミをあさられないように考え、一番良い方法を看板にかき、

ゴミ捨て場に設置するのです。この取り組みは大人も子どもも協力し、考えていきます。また、看板を設置することで「この町の人はいくらだけ思いやりがあるか」を確認することができるのです。

★ポイ捨て禁止！（27）

シンガポールのように「ポイ捨て禁止」を作ります。そして「ポイ捨て」をした人は罰金します。次に地域全体でごみひろいをします。ごみだけではなく、落ち葉や雑草も拾います。そして拾ったごみをビニールぶくろに入れて、ごみだしをします。

★ゴミをひろおう！（28）

この絵のようにいろいろなところにゴミが落ちています。この活動はゴミを見つけたらすぐ拾うという活動になっています。田んぼ、道路、公園いろんなところにあります。でもゴミが落ちているということはだれかが捨てているということです。まずは活動をやる前に、ゴミを捨てないという決まりをまもってから活動しましょう。

★ごみのないまち（29）

2カ月に1回ごみ拾いして大人や子どもの協力でごみのない町を作ります。

★ボランティアをあつめてゴミをすくなくしよう（30）

公園や道路のふちなどにゴミがたくさん落ちていて、たまに車そのゴミをふんでパンクをおこしてしまうこともあります。人が歩いていても、ガムが落ちていてふんでしまうこともたくさんありますよね。そのことがおきないようにポスター化、呼びかけをして、自然によい地球にしていってほしいと思っています。見らにの地球のためにもがんばっていきたいです。

★ごみ箱大作戦（31）

いろいろなゴミがあり、きたないところを書きます。ここは高さが低めの休田に大量のゴミがあるところです。私は所々にゴミが捨ててる場所の近くにゴミ箱を置くことを考えます。

★清掃活動（32）

ごみを出す時や、ゴミの出し方を注意して呼びかけたり、一人ひとりが工夫すると、ごみ出し場がきれいになって集める人も集めやすくなる。道などに、紙か空き缶などが落ちていたりして、そこを歩く人が気分が悪くなる。だから一人ひとりがゴミなどをポイ捨てしないでゴミ箱に捨てると、道などにゴミが無くなり気持ちがよい。

★一宮市ピカピカ作戦（33）

最近、駅の周りなどでごみがよく落ちているのを見かけます。僕が住んで

いる浅井町では、浅井町ピカピカ作戦というものがあり、きれいになっています。これを浅井だけでなく、一宮市全体で行ってきれいな町にしたいです。毎月ゼロが点く、どこかの日に行います。子どもから大人、おじいさん、おばあさんなど参加できる人は進んで参加します。

★自然きれいなゴミゼロマップ（34）

このごろゴミを人の土地や田畑に捨てていく人たちが、どんどん増えていっているのをこれと考えました。これを見た人たちがダメだなあーと思ってやめてもらうのが目的です。私はこの町をとってもきれいで豊かな町をつくりたいです。皆で協力してとってもいい町にしたいです。

★ゴミゼロの町づくり（35）

「ゴミは捨てない」など書いたポスターを公園や、道路のさくなどにはり、ごみを捨てる人を少なくする。また、ゴミゼロボランティア活動を行い、道路などにすててあったゴミを拾い、ふくろに集めて、そのふくろが何ふくろ分かや、何kg（g）などを去年やおととしと比べて、それを表にあらわして、みんなにしらせる。その次の年のゴミの量を予想して、その数値より、ゴミの出た量をすくなくできるように協力して、それを行い、少しずつでもゴミをへらせるようにする。

★ゴミ拾い活動（36）

道中にあるゴミをひろって、ゴミのない町をつくる。もし、ポイすてがあったら注意をよびかける。ゴミがあったら、いやだと思うけど、ゴミが無かったら、人の心もきれいになると思ったからです。

★ゴミばこのセッチ（37）

ポイステの多い場所を調べる。ゴミ箱をおく。畑、タンボらへんがゴミが多い。カンバンをたてる。

★地いき出ごみひろい草むしり活動（38）

すんでいる町におちているごみをそっせんして拾います。公園などの草むしりをしてきれいな町にします。月に1回など活動する日を決めて行います。

★ごみ拾い（39）

通学路や、公園、堤防、川などの近くに落ちているごみを拾います。公園などの遊び場では、たくさんのごみがあると思います。なので人の集まったりする場所は、ちゃんとごみを拾う。ごみ拾いは大人と子ども、みんなで協力して行います。

7 産業が盛んなまち

★糸、上げ上げ活動（40）

ここら辺は、糸などのものが有名なので「糸フェス」など糸に関する物を行えば、いいと思います。また、この活動は大人と子どもがボランティアとして活動します。

8 その他

★健康作りのできるまち（41）

138タワーパークの近くに総合体育館があります。少しはなれた所には光明寺公園球技場があります。この広大な公園の一部にプールがあると、様々なスポーツが出来る総合運動公園になるので、室内温水プールもあつたらいいと思います。理由は夏休み期間中の学校のプールの日数が少なくなっていることと、最近では猛暑で中止になることも多いからです。また市内に水泳大会が出来るプール会場もないからです。近くに木曽川が流れているという強みを生かして、健康作りにも役に立つので、室内温水プールや体育館、138タワーパークもある総合運動公園になるといいと思います。

★あられネーミング付け（42）

一宮市の地域活性化を目的とした商品に、菊一あられさんと一宮活性化プラン協議会、南山大学経営学部石垣ゼミ8期生がタッグを組み、子どもたちの意見が反映されたあられの開発を行い、子どもたちの自由な発想であられのネーミングを募集するもの。